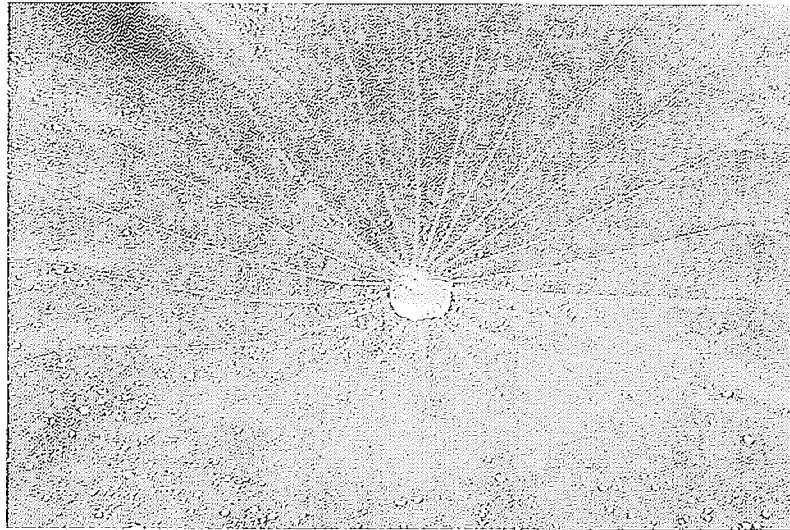


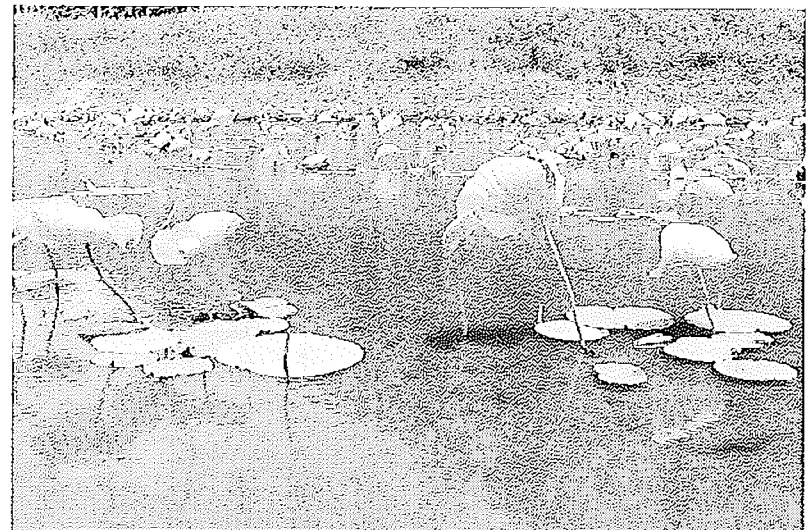
2020年8月発行

# 安房普及だより

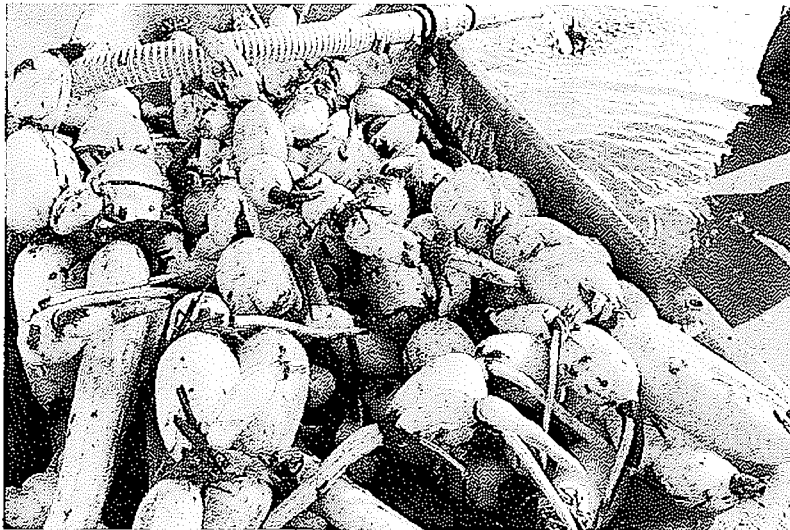
〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097  
ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/index.html>  
発行:千葉県安房農業事務所改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



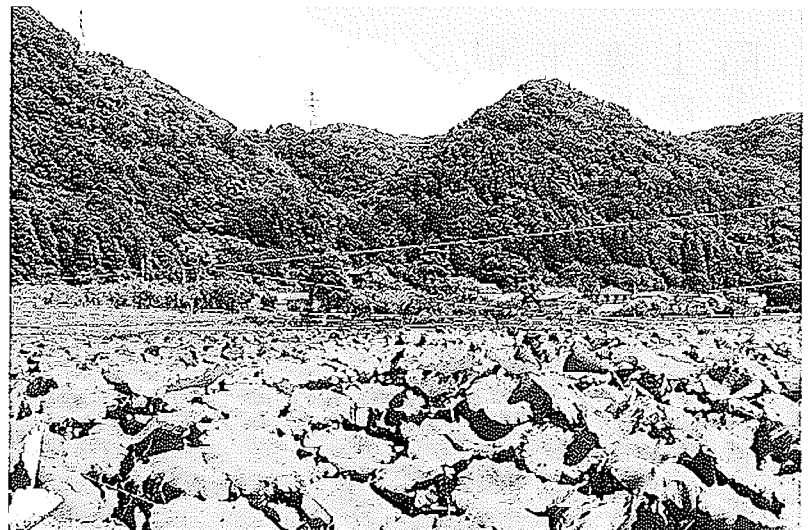
雨水を弾くハスの葉



ハスの浮葉と立葉 (5月)



水掘り収穫されたレンコン



ほ場一面に広がるハスの葉 (9月)

## 鴨川地域の レンコン栽培

鴨川地域では、温暖な気候と重粘土質土壌、豊かな水源を活かした稲作が盛んです。この環境はレンコンの栽培にも適しているため、稲作からレンコンへの転作が広がっています。

当地域では、昔から小規模なレンコン栽培が行われていました。近年、収益性の高い品目として注目されています。大規模に栽培する生産者が増えており、ここ4、5年で栽培面積が約2ha以上増えていきます。重粘土質土壌のため、収穫調製作業が大変ですが、おいしいレンコンができると評判で、直売所でも人気の野菜です。

生産者は視察や勉強会を通して、互いに技術を磨き合っています。当農業事務所は、鴨川地域のレンコン生産振興に向けて支援を続けていきます。

野菜・花きの

台風対策

近年の大型台風は、農作物の生育を損ない、農業用ハウスを損壊するなど、栽培環境に被害をもたらします。そこで、台風被害を防止、軽減する方法について、露地、施設に分けて紹介します。

1 露地栽培の台風対策

【事前対策】

①排水対策

滞水、冠水による湿害ほ場周囲に額縁明きよを施工し、排水路と接続させ、速やかな表面排水を促しましょう。また、水が溜まるようなほ場では20cm以上の高畝にすることも有効です。

地下の排水性を向上させる方法には、サブソイラを利用した耕盤破碎や弾丸暗きよの施工、堆肥の施用による土壌透水性の改善などがあります。

②潮風害対策

台風上陸前に、防虫ネットや不織布などのべたがけ、あるいは土寄せを行います。また、果菜類などは、倒伏防止のため、支柱との結束部分を確認し、補強しましょう。また、風の影響を軽減するため、ほ場の周りに防風網などを設置しましょう。

【事後対策】

べたがけをしている場合は、速やかに剥がします。ほ場に入れるようになったら土寄せとともに追肥を行い、生育の回復を促しましょう。併せて、発生が懸念される病害に効果のある殺菌剤を散布し、予防に努めましょう。また、潮風害が危惧される場合は、可能な範囲で散水し、除塩します。

2 農業用ハウスの台風対策

①排水対策

大雨により、地盤の土壤水分が飽和すると、強風でパイプが抜けやすくなります。ま

た、基礎が浮き上がり、倒壊する可能性が高まります。ハウス周辺に明きよを掘るなど、排水対策を行います。

②強度の確保

部材のサビやボルトのゆるみがあると強度が低下するので、点検して傷んだ部材を交換し、ボルトを締め直します。

③被覆資材などの点検

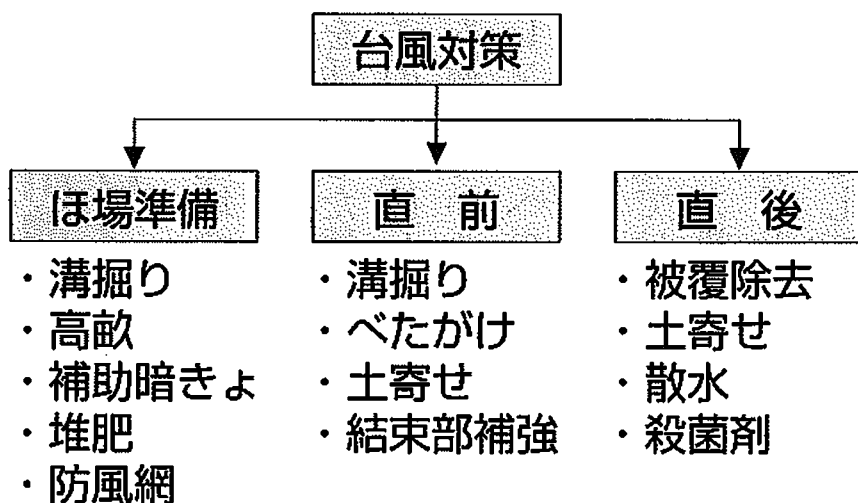
被覆資材や留め具にゆるみがあると、強風で被覆資材がばたついて破損する可能性が高まります。破損箇所から風が吹き込んでハウスが浮き上がり、倒壊する場合もあります。ゆるみがないか点検し、締め直しましょう。

④補強対策

パイプハウスの被災パターンは、風上側の肩部分から屋根にかけて押しつぶされる、下から吹き上がるように変形、妻面が奥行き方向に倒壊、真上から押しつぶされたように陥没の4つに分類されます。

ハウスの補強は、立地条件や施設の特徴、被災パターンなどに応じて、効率よく行う必要があります。そのため、補強方法の選定、資材や部品の選択をよく検討してください。

(参考)「千葉県農業用ハウス災害被害防止マニュアル」  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/jouhou/nougyouyouhaususaigaitaisakumanual.html>



台風対策のフロー図

かいよう病に強いレモン 新品種「璃の香」の特性

安房地域ではレモンの栽培面積が拡大傾向にあります。

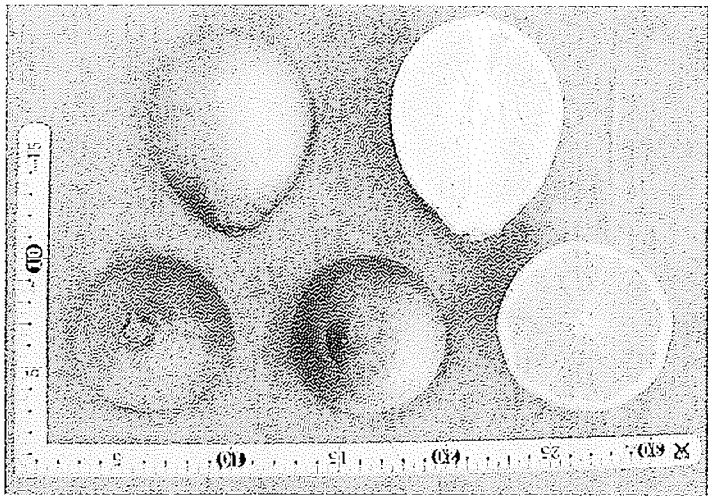
しかし、レモンは、かいよう病が発生しやすく、商品果率の低下を引き起こす原因となつていきます。そこで農研機構

果樹茶業研究部門が育成した、かいよう病に強いレモン「璃の香(りのか)」を紹介いたします。

「璃の香」は「リスボン」と「ヒユウガナツ」の交雑実生です。樹勢は強く、樹姿は直立性で、枝の発生密度はやや少なく、トゲは少ない特性を示します。

かいよう病の発生は、「クックユーレカ」や「リスボン」より少なく、また、そうか病の発生も少ないです。

連年結果しやすく、豊産性を示します。10月中旬頃にはグリーンレモン(1分着色)、12月下旬頃にはイエローレモン(9分着色)として収穫できます。



レモン「璃の香」の果実

1果実重は、200g程度で、「クックユーレカ」や「リスボン」より重くなります。果汁歩合は高く、果汁の酸味はやや少ない特性を示します。近年、国産レモンが注目されていきます。この機会に栽培を検討してみたいかがでしょうか(詳細は、令和元年度試験研究成果普及情報「レモン新品種「璃の香」の品種特性」(千葉県)を参考にしてください)。

稲刈り後の秋耕を 行って来年の作付けの 準備をしましょう

移植した水稲の初期生育が悪く、水田を歩くとブクブクと泡が出る、ガス湧きの症状が出ている場合はありませんでしたか? 今年春先まで刈り株や稲わら残さの残ったほ場が多くみられました。このような有機物を春にすき込むと、湛水後の土壤中で有機物を分解する微生物が働き、硫化水素やメタンガスが発生し、水稲の根にダメージとなり生育に悪影響が出ます。

ガス湧きの事後対策には、ほ場の水交換、夜間落水、田干し等があります。しかし、用水が自由に使えないなどの理由で事後対策が取れないほ場も多いため、秋耕により有害なガスの発生を防ぎましょう。秋耕は刈取り後、地温が高い10月末までに耕耘し、刈り株や稲わら等の有機物を土

壤にすき込みます。できるだけほ場が乾いている時に、深さ10cm程度の浅めに耕耘します。時期が遅いと地温が下がります。すき込んだ有機物の分解が冬の間進まず、春先以降に分解するため、春の耕耘と同じ結果となつてしまいます。また、水稲収穫後に台風等により、稲わらが寄つてしまうと、その部分だけ分解が進みにくくなります。そのような場合は、堆積した稲わらを取り除くか、ほ場全面に広げ、石灰窒素等の腐熟促進資材を使用して秋耕を行うようにしましょう。



未耕耘田の様子

### 安房地域の 若手農業者紹介

館山市西岬で花きを生産している山崎拓馬さん（29歳）を紹介します。

山崎さんは、高校卒業後に種苗会社で2年間の研修を経て、実家で就農し、今年で10年目になります。就農当時に先輩農家から、消費者と接して販売する楽しさを教えてもらい、現在では卸売市場に委託販売するだけでなく、小売業者等にも直接販売しています。現在は、主にキンギョソウ、トルコギキョウ、ラナンキュラス等を栽培しており、今後、新たな種類の花き栽培に挑戦していきたいと意気込んでいます。

また、山崎さんは、安房地域の若手農業者団体「農VICE」の会長を務めています。「農VICE」は、平成31年に設立され、会員同士の経営

訪問や他地域の若手農業者団体との交流等を行っています。山崎さんは、「就農した時に、先輩から色々なことを教わり、助けてもらった。自分も後輩を育成し、『農VICE』の活動の中で、後継者が進んで継ぎたいと思えるように、農業の魅力を発信していきたい。そして、将来の安房地域の農業を盛り上げる一役を担えたら嬉しい。」と笑顔で話してくれました。



山崎拓馬さん

### 令和3年度

#### 千葉県立農業 大学の学生募集！

本県農業の担い手及び指導者を目指す入学生を募集します。

▼募集人員 農学科80名、研究科20名（推薦入学で募集する者を含む）

#### ▼試験期日

【推薦入学】 令和2年

10月27日（火）

【一般A日程】 令和3年

1月8日（金）

【一般B日程】 令和3年

2月16日（火）

#### ▼願書受付

【推薦入学】 令和2年

9月28日（月）～10月9日（金）

【一般A日程】 令和2年

12月7日（月）～12月18日（金）

【一般B日程】 令和3年

1月25日（月）～2月5日（金）

▼問合せ 千葉県立農業大

学校庶務教務課

☎ 0475(52)5121

### 改良普及課職員紹介

改良普及課長 山田 博  
主席普及指導員 石井 義久

#### 【館山グループ】

大山 康彦（グループリーダー）

茂田 雅記（野菜・果樹）

上野 瑞代（果樹）

片山 敬生（野菜）

角田 ひかり（花き）

吉田 柊平（作物）

#### 【鴨川グループ】

長崎 仁（グループリーダー）

大坂 龍（作物）

石井 堅也（野菜）

上田 倫裕（果樹）

後藤 衛（畜産）

#### 【南房総・鋸南グループ】

田中 千華（グループリーダー）

宮本 直子（花き・生活）

野中 太輔（畜産）

葛木 康徳（果樹）

花澤 俊祐（野菜）

中後 貴寛（花き）

浦西 英明（作物）